

支部だより

令和4年1月
第90号

進化は続く、スパイラルアップ

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、令和4年の初春をお健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、大リーグの大谷翔平選手が大活躍し、
MVP ほかに大リーグの主要な賞を総なめにしまし
た。長く辛いリハビリを耐えての快拳に日本中が
励まされました。そして12月には、日本初の民
間人の宇宙ステーション滞在のニュースが飛び込
んできました。お金の問題を解決すれば誰でも宇
宙に行ける時代が来たようです。今年も北京オリ
ンピック・パラリンピック、投打二刀流の記録更
新にと期待が膨らみます。

ワクチン接種の普及により沈静化していた感染
拡大は、去年の11月に感染力の強いオミクロン
株が現れて以降、再び世界中に感染が拡大してい
ます。それでも3年前の新型コロナウイルス出現
のときは違い、今は追加ワクチン接種のほか、
飲み薬も開発されています。身近に迫る第6波へ
の備えに油断はできませんが、不安は和らいだ感
もあります。

振り返ってみると、コロナ禍の生活はこの窓
口、机にも、透明シートや仕切りがある対面自粛
の日々でした。その一方で私たちの生活にもIT
リモート技術が広く普及しました。時間と空間、
移動の制約を超えるリモート社会へとジャンプ、
進化したように思います。

私たちの支部活動にも、非接触、非現場のバー
チャルな世界への対応が必要なのかもしれません。
それでも活動の基本はやはり、ひとり一人の顔が
見える親し気な協働活動であるべきだと思います。

今年も支部活動を通して、仕事関係の限られた
世界や利害を飛び越えて広く交流、親交を深めて
いただけるよう、役員一同、心をひとつに努力し
てまいります。

会員の皆様のご支援を引き続き、よろしくお願
いいたします。

今年はコロナ禍を踏み台にしてスパイラルアップ。
千里を駆ける飛躍の年にしてゆきましょう。

(加古川支部 支部長 小西 敏文)

令和3年度〈公社〉兵庫県建築士会加古
川支部
省エネ講習会のご案内

令和元年の建築物省エネ法の改正により、建築
士は300㎡未満の住宅を設計する際に、建築主
に対して省エネ基準への適合性等について書面を
交付して説明することが、令和3年4月1日か
ら義務付けられました。

加古川支部研修委員会では、「改正省エネ法の
概要と小規模住宅省エネ計算実務の解説」と題し
て、株式会社兵庫確認検査機構様のご協力を賜り
講師の方をお招きし、ハイブリッド形式で講習会
を行うことを企画しました。

これから住宅設計に取り組みされる会員はもちろ
ん、既に説明対応されておられる会員も受講によ
り制度への理解を深め、知識の補強が図れる内容
となっております。

今回、新たな試みとして、講習会場にて参加さ
れる方以外にオンラインで自宅や事業所などでご
視聴頂けるようにします。また当日研修時間中に
チャットにて質問をお受けいたします。

記

第1回 1月22日(土) 13:30~15:30
尾上公民館 第1研修室

「改めて学ぶ！一戸建て住宅の建築物省エネ法改
正と新基準」

(株)兵庫確認検査機構 山本 薫 様

第2回 2月12日(土) 13:30~15:30
東播磨県民局 「かこむ」会議室B

「外皮計算・一次エネルギー消費量計算の実施」

(株)兵庫確認検査機構 田中 良謙 様

募集人員 10名(10名に満たない場合のみ
1回のみ参加も可能とします。)

オンライン参加 10名

参加費 会場参加 1000円

(1回のみ参加の場合は500円)

オンライン参加 500円

参加条件 第2回会場参加の場合、パソコンを持
参し、会場のWi-Fiに自力で接続が必
要となりますので、接続可能な方。

申込〆切 令和4年1月18日(火)までにお
願います。

※ 第2回のみ参加の方 令和4年2月8日
(火)までにお願います。

申込方法 メールに次の項目を記載し、
支部E-mail宛、申込み下さい。

(参加申込みされた方に、Google Formsから
の登録案内をメール送付いたします。)

- ◎メール件名： 省エネ講習会参加申込み
 ◎本文 加古川支部研修委員会 宛
 1. 氏 名：〇〇 〇〇
 2. 携帯番号：
 3. メールアドレス：

問合せ等 メールまたは電話で問い合わせ下さい。

●支部 E-mail：

kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com
 TEL：090-7889-2626（小西）

これからの省エネ政策を鑑みると建築士における責任が大きくなっていくと思われます。

是非、この機会を利用して省エネ法を身近なものとしてみてはいかがでしょうか。

（研修委員会 副委員長 林 知宏）

令和3年度（公社）兵庫県建築士会 加古川支部 岡山県 犬島 犬島精錬所 美術館見学会の報告



上空からの犬島精錬所美術館（89号より）

令和3年11月27日、岡山県の犬島精錬所美術館見学会が開催されました。加古川駅で集合して（一部の人は直接）本州側の宝伝港へ向かい、定期船乗り場で全員集合して犬島へ向かいました。犬島の玄関口、チケットセンターは良い感じに風化した外壁焼板がシルバークレーに光っていました。予約していただいていた昼食（私は蛸飯をチョイスしました。もう一つのミネストローネも次回食べてみたい！）をとった後、スタッフさんの案内付きで見学しました。



美術館といっても単なるハコものでなく、精錬

所遺構（かつて犬島で銅が精錬されていた）を含む島東部の敷地全体を美術館に見立てていて、チケットセンター前からのスタート。建材としての石を切り出した後の大きな花崗岩を塀に使っていたり、門や入口看板は良い感じに錆びたスチール、精錬の過程で出る副産物を固めたカラミ煉瓦、この煉瓦に冬は蓄熱（夏は蓄涼）させて風を通し、産業遺産の煙突から抜く空気循環など、まさに「在るもの」を活かして、建築を含む「何か」を足すことで、ここが成り立っているのだと感じました。

美術館建物は入口からの通路に窓も照明もなく進むのに苦労しましたが、どうなっているかは、まだ行ってない人の為にここでは書かないことにします。

家プロジェクトも、駆け足ではありましたが堪能し、定期船に乗って帰路につきました。

瀬戸内の海と広い空を見て風に吹かれ、帰りの道中では大きな虹も見られて、コロナ禍で外出が減っていた身にとってリフレッシュできた1日となりました。企画ご準備くださった皆様、ありがとうございました。（尾瀬 くみ）



加古川楽市 活動報告

令和3年11月6日・7日の第18回商工祭カコガワラクイチに今年も例年通り金魚すくいとヨーヨー釣り、活動事業のパネル展示で参加しました。

今年は例年と異なり、初めて日岡山公園で開催されました。また例年は夏開催でしたが、秋に開催となり、いままでにない初めての多い事業となりました。開催前は11月と気温が下がるなか、金魚すくいとヨーヨー釣りをかなり夏向きの事業を選択したためお客さんがどれだけ集まるか不安もありましたが、幸いこの二日はとても暖かく無事多くのお客様に来て楽しんで頂くことができましたと思います。

活動内容としては5日の夜に、ヨーヨーの制作と会場での道具の準備を行いました。19時からでしたが、多くの青年部会員とOBの方々に手伝って頂き2時間程で準備することが出来ました。

本番の6・7日は、青年部会員、OB及び部会

員関係者等 2 日ともに 10 人以上の方にご協力頂きました。前述したように、6・7 日は 2 日ともとても暖かく考えていたよりも多くのお客様に来ていただき、ヨーヨーの準備にお客様の対応と、とても大変でしたが全員で協力し何とか乗り切ることが出来ました。昨年はコロナの影響で開催することが出来ずとても残念でしたが、今年はコロナ対策をしっかりとした上で、昨年を取り返す勢いの盛況でみんなが楽しめたのではないかと思います。

来年のことはわかりませんが、また開催できれば、普段あまり集まらない士会員との良い交流の機会でもあると思いますので、また参加し今年参加出来なかった方々も気軽に参加していただきたいと思います。(太秦 篤史)

※加古川楽市って？

加古川楽市は、加古川商工会議所の主催で、加古川商工会議所青年部が主管となり開催の商工祭。加古川商工会議所事業所と地元商業者（飲食・物販ブース出店者）、来場者にふれあい（企業間交流・世代間交流）の場を提供し、そこから日常の商売に繋げ、地域活性化の原動力の一助になることを目的として開催されています。

2級建築士講習 四方山話

3 年度の講習記事は青年部永田君が前号で報告していますので、今回は徒然とつぶやこうと思います。

当講習会も 18 年の時を経て大勢の生徒（受講生）と接してきた。毎年の事だが、電話にて講習会応募の問い合わせ時に声の様子や話し方などから先ずその人となりや想像する。おおかたは初講義の時に会っても、想像と大差なく人柄などが見て取れる。当たり前だが、受講生の思考の仕方・学習能力などまさに十人十色 人それぞれである。

当講習会では受講生本人が（ケツ割り）しないかぎり最後までサポートすることを心掛けている。今年を受講生の中の一人の話。

彼の電話口での能弁な話し方とは裏腹に、思うように理解が進まない事や授業についていけないことなど弱音の部分をつぶやいた。

日を改めて話を聞く機会を設けた。

学生時代の話から建築士を目指した動機・仕事のこと etc・・・。こういう時は相手に包み隠さず腹を割らせるに限る。ひたすら聞き役に回る。講師と生徒ではなしに（人と人）。そこから解決策を導き出す。その人（受講生）が少しでも上を向けるように、少しでも成果を持って帰れるように心を砕く。何回もドロップアウトしかけたが、本試験までこぎ着けた。

結果は次年度もチャレンジとなったが、合否発

表の当日電話口から元気な声が聞こえてきた。

「今年はあきまへんでしたけど、来年度の木造に向けて 2 年計画で勉強しますので、よろしく願います！」との連絡があった。

俺は「ほえ～2 年計画でか！わしゃ生きとるかわからんで！まあええわ！どこまでもつきあうで～。いつでもこいよ～」と電話を終えた。こんな感じで繋がっていくんやろな～。 つづく

追伸…

遅ればせながら…厚生委員会の副委員長もさせていただきます。

よろしく願います。

（2級建築士講習委員責任者

厚生委員会 副委員長 松本 有司）

ええはなしやん

第 69 回



全国信用組合新聞 懸賞作文

「小さな助け合いの物語賞」しんくみ大賞受賞
兵庫県 山田のりこ さん

もらったバトンを渡しているだけ

え、手が上がらない。まぶたもあがらないありとあらゆる体の筋肉が自分の言うことをきかない…。突然そんな難病にかかった。それまでお産と歯医者以外ほとんど医者いらずだった私は 7 年前重症筋無力症と宣告され、ほぼ寝たきり状態になってしまったのだ。

日常に家事は夫や子どもたちがなんとかこなしてくれていたが当時高一だった娘のお弁当作りまでは到底手が回らなかった。当時仲良し四人組でお弁当を食べるのが娘の楽しみだったが仕方ない。でも一人ぼっちで学生食堂に行く娘のことを不憫に思ってくださった娘の友達のお母さんから突然ラインが届いた。

「お弁当一つ作るのも二つ作るのも一緒です。もしよければお嬢さんの分のお弁当も私に作らせてください」と。思い出すだけで目頭が熱くなる。

そんな厚かましいことをお願いするのもどうかと思ったが、いろんな我慢や苦勞を強いていた娘のことを気遣ってかけてくださったお言葉だ。温かいご厚意に甘えさせていただくことにした。そのお友達と理系と文系でクラスが別々になるので、娘は高二からは自分で作ることにしたが、結局 3 学期の間一日も休まずにおいしい手作りのお弁当をいただくことになった。一生治らない難病とも言われ、何度泣いたことかわからないが、このように親身に私たちを助けてくださったたくさんの善意に支えられて私は数年後元気を取り戻した。

人生山あり谷あり、時として地獄に突き落とされるように思う日もあるが、周りに仏さまのような人がいると救われるということをしみじみと実

感した。

それから6年後、次男の同級生のお母さんが末期がんときいた。私は思わず「私もお弁当が作れないときに助けてもらいましたので…」とラインを送った。やっとその時のご恩を返せるときがきたように思ったのだ。

「いつもおいしいお弁当に息子も大喜びです。おかげさまで体はきついです、のりこさんの大きな気持ちに包まれていることを感じます。心より感謝しています」とお亡くなりになる10日前にも丁寧なラインをもらった。思えばお別れのご挨拶だったのかもしれない。

お弁当作りを始めてから2年目を迎えた。学年懇談会などで学校に行くと、何人かのお母さんたちから「今もお弁当作られてるって、すごいですね」とか「頭が下がります」といわれることもある。でも私は自分が苦しくて辛かったときにただいて救われた思いやりのバトンを次の人に渡しているだけ。大きなことは何もできない、ただお弁当を2つ作るだけ。

今朝も息子と同級生用に同じお弁当を2つ作った私は、こんな難病患者でもできることがあると思うだけで生きている喜びを感じている。こんなささやかなことでも大きな生きがいとなっているかもしれない。

編集後記

支部だよりの発行は大体、研修会や懇親会などの日程に合わせ、逆算して発行しています。今回、研修会第1回締め切り日に間に合わず、大変申し訳なく思っています。

研修委員会 林知宏副委員長より、「これから住宅設計に取り組まれる会員はもちろん、既に説明対応されておられる会員も受講により制度への理解を深め、知識の補強が図れる内容となっております」という強いメッセージを頂いていますので、多くの方の参加を期待しています。

見学会報告の尾瀬くみさん、加古川楽市報告の太秦篤史さん、勝手に題名に四方山話と付けさせて頂いた松本有司さん、記事をありがとうございました。

“ええはなしやん”ですが、私に送っていた抜粋記事を転記させていただきました。転記しながら、改めて感動しました。感動のおすそ分けを受け取っていただけたらと想います。

最後に、支部長からのお言葉をもう一度。「コロナ禍を踏み台にしてスパイラルアップ。千里を駆ける飛躍の年にしてゆきましょう。

(広報委員会 委員長 高橋 賢吉)

連絡票

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局/吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 小西 敏文 直通 TEL: 090-7889-2626

E-mail: kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

